

Q14 問題解決的な学習とは、どのようなことをいうのでしょうか。



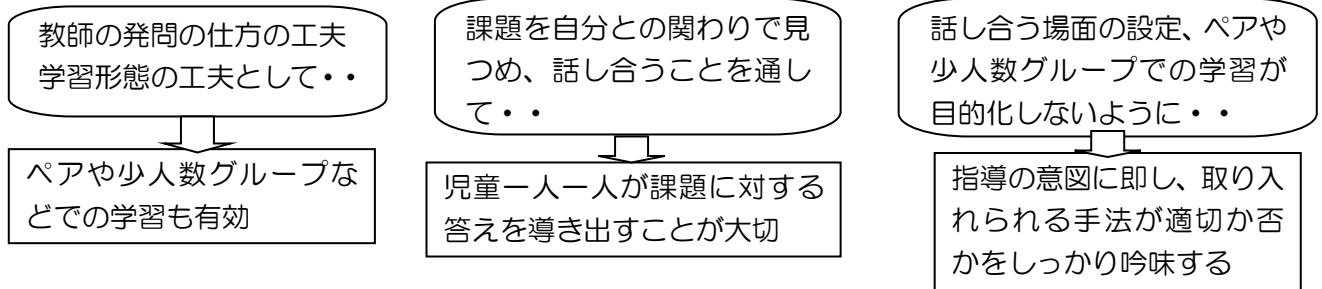
道徳科における「問題解決的な学習」とは、『ねらいとする道徳的価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりと物事を多面的・多角的に考えながら課題解決に向けて話し合うこと』（小学校学習指導要領解説―特別の教科道徳編―）を言います。道徳科における問題とは・・・道徳的価値に根差した問題であり、単なる日常生活の諸事象とは異なります。

◇問題解決的な学習の特長は、児童一人一人が、生きる上で出会う様々な道徳的諸価値について関わる問題や課題を主体的に解決するための資質や能力を養うことができることと、問題場面について、児童自身の考えの根拠を問う発問や、問題場面を実際の自分に当てはめて考えてみることを促す発問、問題場面における道徳的価値の意味を考えさせる発問によって、道徳的価値を実現するための資質・能力を養うことができることの2つの点があげられます。

◇道徳的な問題例として・・・（規則尊重の場合で考えます）

1. 道徳的諸価値が実現されていないことに起因する問題（きまりはあるが、守っていない）
 2. 道徳的諸価値について理解が不十分又は誤解していることから生じる問題（きまりがあるのは知っているけれども、自分が関係あるとは思っていない）
 3. 道徳的諸価値のことは理解しているが、それを実現しようとする自分とそうできない自分との葛藤から生じる問題（きまりが大事なものはわかっているけれども、できないときもある）
 4. 複数の道徳的価値の間の対立から生じる問題（きまりを守らなければいけないことはわかっているけれども、守っていたら、約束に間に合わないことが考えられ、悩む）
- などがあります。これらの問題構造を踏まえた場面設定がなされることが求められます。

◇指導の配慮事項としては以下の点が考えられます



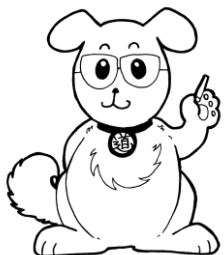
単に目の前の問題を解決するだけの「話し合い」に終わらないようにするために、多面的・多角的な思考を促す主題を設定すること、主題の設定ができるであろうかと教材を選定すること、道徳的な問題を自分事として捉え、議論し、探求するプロセスを重視することが求められます。

◇問題解決的な学習の指導方法の例

問題解決的な学習は、児童一人一人が生きる上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養うことをねらいとした指導方法です。			
学年 教材名	6年生<友情、信頼> 「ロレンソの友達」	4年生<礼儀> 「あいさつ月間」	1年生<よりよい学校生活、集団生活の充実> 「とりかえっこ」
導入	1. 道徳的価値の考察 友情とはどんな関係でしょうか。	1. 道徳的価値の想起 どんなあいさつを知っていますか。	1. 道徳的価値の考察 なぜ、学校は楽しいのでしょうか。
展開	2. 道徳的な問題の状況の分析 ・ロレンソが警察に追われていることを知り、3人がどのように対応したか、整理しましょう。 ・ロレンソが3人の考えを聞いたら、どう思うのでしょうか。 3. 問題の解決 ・先ほど考えた友情をもとに、友達との振り返りについて考えましょう。	2. 道徳的な問題の状況の分析 ・「わたし」は挨拶についでどのように思っていたのでしょうか。 3. 問題の解決 ・礼儀正しいあいさつってどんなものだろう。 4. シミュレーション ・問題として捉えた部分を解決するシミュレーションを行う。 ・他のあいさつも礼儀正しく、実際にやってみましょう。	2. 道徳的な問題の状況の分析 ・小学校へ通っているけんごが、幼稚園に通っているけんごと、とりかえっこしたのはどうしてでしょうか。 3. 体験的な学習 ・けんごの気持ちを考えながら、とりかえっこを断った場面をやってみましょう。 4. 複数の解決策の構想 ・なぜ、小学校は楽しいのでしょうか。
終末	4. まとめ ・学習を通して考えたことや新たに分かったことは何ですか。	5. まとめ ・学習したことで、これから生かしていきたいことはありますか。	5. まとめ ・これまでの学校生活で楽しかったことや、これから楽しみにしていることはありますか。

出典

6年「ロレンソの友達」 2022年 自己実現を図り、持続可能な社会を創る資質・能力の育成Ⅱ
 4年「あいさつ月間」 2020年 学ぶ意欲を育て、「生きる力」を伸ばす学習指導と評価の工夫改善Ⅴ
 1年「とりかえっこ」 2021年 自己実現を図り、持続可能な社会を創る資質・能力の育成Ⅰ



上記は、問題解決的な学習の展開例ですので、「型」として固定的に捉えることのないようにしてください。また、問題解決的な学習が目的となるのではなく、指導のねらいに即して適切に取り入れるという点にも留意してください。